

## 発達系アイデア 1

### 1. 身体への対応

#### (1) 冷たい水を飲ませる

興奮して職員室に連れてこられたとき、まずは席に座らせて水を一杯飲ませます。冷蔵庫から、氷を一つ二つ入れて、「冷たい水だよ」と差し出します。教室では、暴れる、大声を出すなどしていますから、のどが渇いており冷たい水を受け入れます。少し間を取ってから、どうしたのかを尋ねます。

#### (2) 専用扇風機を当てる

夏の暑いとき、教室内の扇風機や窓からの風を独占しようとしてトラブルが起きます。体温調節が苦手なことが原因だと推測しています。皆が納得できるように、譲り合って使うことは難しいので、教室用のサーキュレーター（ミニ扇風機）があれば、本人の目の前に置き、風がしっかり届くように、座席を指定します。

#### (3) 日の当たる場所に席を移動する

冬の寒いとき、座席を日の当たる場所にします。廊下側の寒い場所だと、落ち着いていることができず、離席が見られます。ぼかぼかと背中に日が当たると、気持ちがいいのでしょうか、じっとしています。

#### (4) ハロゲンヒーターを当てる

冬場に、教室から連れてこられたとき、別室でクールダウンさせます。このとき、ハロゲンヒーターを当てます。温かい光が本人に当たり、じっとしています。ハロゲンビームの効果は絶大です。お試しあれ！

#### (5) 上靴、靴下を履かない

発達系の方は、靴下を履くことや上靴を履くことが苦手です。皮膚の感覚が過敏であったり、体温調節が苦手なのではないでしょうか。皮膚に接触して、包まれることを嫌うことから脱ぐと思われれます。上靴は、発達系かどうかの見極めの指標となります。無理に履かせようとしても、お互いストレスになるので、床に画鋲などの尖った物が落ちていないか気をつけるようにします。